

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】ニホンザルのGPS調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生物多様性係 電話番号：058-272-1111(内2923)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,342 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,342	0	0	0	0	0	0	0	4,342
決定額	4,342	0	0	0	0	0	0	0	4,342

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・県は、4年度に第二種特定鳥獣管理計画を作成し、市町村に群れの状況に応じた捕獲の周知を図ることとしている。
- ・市町村は、群れの状況に応じた捕獲を検討するに当たり、群れの状況を把握する必要がある。
- ・県は、4年8月に実施した住民の目撃情報に基づき、群れの数、分布、個体数、加害レベルを推定した出没カレンダー調査の結果を市町村に提供することとしている。
- ・特に、加害レベルが高く個体数が多い群れについては、対策強化が必要であり、出没カレンダー調査では推定できない行動特性を把握することにより、効率的、効果的な対策が可能となる。
- ・このためには、群れの1個体にGPS首輪を装着し、装着個体の位置情報を取得・分析する必要がある。
- ・県は、市町村に群れの状況に応じた捕獲の周知を図る一環として、加害レベルが高く個体数が多い4群れを対象としたGPS調査をモデル事業として実施する。
- ・モデル事業により得られた結果や手法は、マニュアルとして取りまとめ、市町村に配付する。

(2) 事業内容

- 1群当たり1頭のサルにGPS首輪を装着し、位置データを取得。群れの行動特性(行動パターン)を分析
- ・期間：位置データ取得を1ヶ月程度実施
 - ・地域：加害レベルが高く個体数の多い群れが存在する4地域の各1群れで実施(山県市、揖斐川町、郡上市、下呂市を想定)
 - ・方法：専門業者へ委託(分析の際は、岐阜県野生動物管理推進センターの助言を得る)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県がモデル事業として実施するものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,342	G P S 調査委託
合計	4,342	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画（R 5～R 9）

(2) 国・他県の状況

- ・国は、第二種特定鳥獣管理計画策定マニュアル、サル対策モデル事業レポートにおいて、G P S 調査の必要性を記載
- ・G P S 調査を実施している県はあるが、調査マニュアルを作成している県はない（長野県、香川県、愛媛県など）
- ・和歌山県が作成を検討中
県、市町村、猟友会、住民の役割と留意点
農作物の生育状況と調査の時期
調査分析に基づく捕獲等対策の実施状況、成果 など

(3) 後年度の財政負担

- ・当年度限りであり後年度負担なし

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県が、市町村に群れの状況に応じた捕獲の周知を図る一環として、モデル事業として実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

サル GPS 調査を県がモデル的に実施し、得られた結果や手法をマニュアルとして取りまとめ、市町村に配付することにより、第二種計画期間内に群れの状況に応じた捕獲の周知を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

サルの第二種計画は1期目であることから、本計画期間内は群れの状況に応じた捕獲の周知を図ることとしているため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3:期待以上の成果あり
- 2:期待どおりの成果あり
- 1:期待どおりの成果が得られていない
- 0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・ 群れの状況に応じた捕獲について、モデル事業を通じて市町村に周知する。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由
や期待する効果 など